

Covid-19と脳卒中

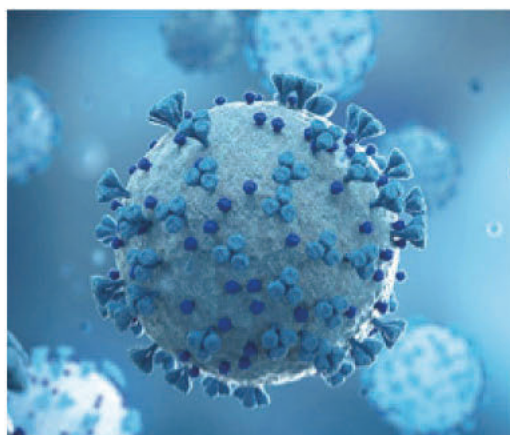
脳神経外科部長 前岡 良輔

新型コロナウイルス感染症(Coronavirus disease -2019;Covid-19)の大流行により、スポーツ、経済など様々な分野での制度・体系の改革・改編が余儀なくされました。Covid診療を行う最前線である救急医療の世界はその最たるもので、脳卒中診療においてもそれは例外ではありませんでした。今回はCovid-19と脳卒中との関係について紹介します。

Covid-19に罹患した場合、その約1～2%に脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)を合併すると言われています。その特徴に出血性脳卒中(脳出血、くも膜下出血)に比べて脳梗塞が多いと言われています。しかしながら、全世界におけるCovid-19の流行の前後での脳卒中の患者数(Covidの感染の有無は問わない)の推移を調べた研究によると、流行の前後で世界的に脳卒中の数が約10～20%程度減少しているという驚きの事実が浮き彫りになりました。その要因の一つとして、外出を控え、外食が減ったことで、ファストフードや飲酒の機会が減ったという生活習慣の改善が挙げられています。いかに普段の生活習慣が大事かというのが伺えます。また脳卒中患者数の減少の要因の一つに、病院を受診することによりCovidにさらされるのではないかという恐怖感から症状があるにもかかわらず受診を控える**受診遅延**や**受診しない**ことによる受診者数の減少が挙げられています。しかしながら、この**受診控えは非常に危険**なことです。というのも脳梗塞の中には早期発見、早

期治療を行うことで可及的、脳梗塞になる前の状態に近づけることができる脳梗塞とその治療法であるカテーテル治療が存在するからです。この治療は時間との勝負です。当院ではCovidの流行の当初からいち早く感染防御対策を取り入れ診療を行っており、**感染防御対策を徹底**しながら脳卒中が疑われる患者の受け入れを積極的に行うことで今まで通りこのカテーテル治療を行うことに成功しています。当院ではこのカテーテル治療を行える専門医が4名常勤(うち2名は指導医)しており、24時間365日この治療を積極的に行っています。

もし、身近な家族、ご近所の方々が突然、呂律が回らない、手足が動かない、倒れた際には手遅れになる前に、すぐに救急車に連絡をするか、当院に御連絡をいただければ幸いです。



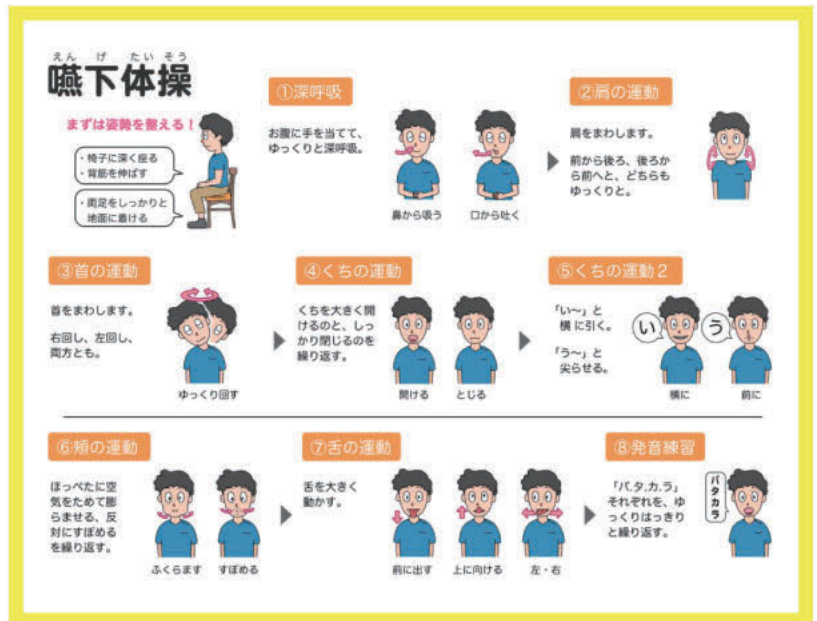
病気じゃなくても嚥下障害は起きる! でも予防もできる!!

摂食・嚥下障害看護認定看護師
脳卒中センター 副主任
橋本 加菜

皆さんは「障害」と聞くと何か病気で障害がある、と想像する事が多いのではないのでしょうか？もちろん、その場合が大半ではありますが、ここでは「加齢に伴う嚥下障害」について知って頂けたらと思います。

まず嚥下とはあまり聞きなれないかも知れませんが、食べモノを食べる事、飲み込む事(ゴックン)をいい、その食べる為の機能が障害されると嚥下障害になります。嚥下障害の原因は脳神経疾患、精神疾患や認知症などのさまざまな病気が原因で起こり得ますが、病気だけではなく加齢によっても嚥下障害は起こります！

私達は、何かを食べるためには口を開け、舌の上に取り込み、舌を動かしながら歯で噛み、飲み込み胃に流しこみますが、この一連の動作で無意識に50以上のさまざまな筋肉を動かしています。これらの筋肉が加齢により筋力低下する事で嚥下障害は起こります。例えば、喉仏は飲み込む時に上に持ち上がりますが、男性は喉仏の位置が若い時より下に位置していませんか？これは喉仏を支えていた筋力が低下した事で起こります。筋力低下は手足に着目されがちですが、手足と同じように飲み込む為に必要な筋力も加齢と共に低下します。また手足の筋力低下予防は筋肉トレーニング(散歩や軽い運動など)をされる方が多いですが、同じように飲み込む為の筋力低下も筋肉トレーニングで予防が可能です。何歳になっても、人生の最期まで好きな物を安全に美味しく食べる為には何事も一日にしてならず。まずは筋肉トレーニングとして「嚥下体操」から一緒に初めてみましょう！



～○菌のはなし～

総務課 主任 木戸 貴之

最近コロナ禍においてCMで「○菌成分配合」とか「○菌スプレー」等とよく耳にします。自身や家族の健康を守る為にも、清潔な環境にはしておきたいものです。○に入る言葉は「徐」「抗」「殺」であったりします。あと病院で「滅」という言葉も聞きます。ところで違いはご存じでしょうか？「なんか似てるけど、どうなの？」と思われるのではないのでしょうか。

「除菌」とは菌やウイルスを取り除いて、その数を減らすこと。種類や明確な減少数は定義されていません。つまり1種類減っても除菌です。

「抗菌」とは菌の増殖を抑えること。定義には以外にもウイルスは対象に含まれていません。ウイルスは抗ウイルスになります。

「殺菌」とはその名の通り菌を殺すこと。除菌同様種類や明確な数は定義されておりませんが、法律によって医薬品や医薬部外品のみ表示可能とされています。つまり1部殺しただけでも殺菌です。

「滅菌」とは菌やウイルスといった微生物の数を完全に除去、或いは殺滅すること。生存する確率が100万分の1以下になることと定義されています。

結果として抗菌<除菌<殺菌<滅菌となります。病院で使用する医療材料や手術器材はすべて滅菌されているので、安全という事です。以上をふまえて、みなさんが商品を購入される時の参考にしていただけたらと思います。





かなづき

神無月

秋も深まり、実りの秋♪ぶどう、りんご、栗、さつまいも…。新米の美味しさは格別ですね。出雲大社へ全国の神様が集まり、土地の神様がいなくなることから「神無月」に。

十六節気

秋分

しゅうぶん

10/3～7(四十八候) 水始涸 / みずはじめてかれる

「水始涸」の解釈は、「川の水が少なく、井戸水は涸れたようになる」と、「稲刈りに備え、田の水をぬく」の二つがあります。栗の季節♪一本で雌雄異花を咲かせます。「銀寄」という品種の丹波栗、平安時代から朝廷や幕府に献上され高級品となりました。



十七節気

寒露

かんろ

10/8～12(四十九候) 鴻雁来 / こうがんきたる

冬の訪れを感じさせる風物詩、雁が飛来してきます。「東京オリンピック2020」。様々な課題がありましたが、私達に沢山の感動を残し無事終了しました。50年以上親しんだ「体育の日」は2020年から第二月曜日、「スポーツの日」として制定。オリンピックに合わせ今年は7月23日が「スポーツの日」です。



10/13～17(五十候) 菊花開 / きくのはなひらく

秋の代表花「菊」がよい香りを漂わせます。夏から秋に次々と大輪の花を咲かせる「芙蓉」。東南アジア、中国、韓国で自生し、「ムクゲ」や「ハイビスカス」なども近種で、一日で咲き終る一日花です。芙蓉とは美しい女性をあらわし、富士山も「芙蓉峰」と呼ばれるそうです。

ひんやりとした秋の空気。「秋の日はつるべ落とし」日暮れが早くなります。

10/18～22(五十一候) 蟋蟀在戸 / きりぎりすとにあり

秋の虫たちが戸口で鳴く季節です。ひんやりとした秋の夜長に響きますね。魚片に「弱」で鰯(イワシ)、字のごとく大変傷みやすい魚ですが、干物、お刺身、焼き揚げ、そして稚魚はちりめんじゃこ。私達の食生活に欠かせませんね。秋は脂がのり、さらにおいしくなります。



十八節気

霜降

そうこう

10/23～27(五十二候) 霜始降 / しもはじめてふる

冬は目前、朝夕冷え込み露が霜となり始める頃です。人間の「眠気」はメラトニンというホルモンにより促されます。朝目覚め、光を感じると分泌が収まり、その後14～16時間で、再び分泌。日本人の5人に1人は睡眠の不調を感じているそうです。過ごしやすい気候の秋は睡眠習慣を改善するにはよい季節です♪



10/28～11/1(五十三候) 霰時施 / こさめときどきふる

「初しぐれ 猿も小蓑をほしげ也 芭蕉」
晩秋から初冬にかけて降る通り雨「時雨」が降ります。体をあたため、咳止めに効く「金柑」。金柑飴は、冬ののどに欠かせませんね。様々な種類が店頭並びます。黄色くかわいらしい小さな実、ビタミンCを多く含み、皮ごと生で食べるのがおすすめです。



山々は、紅葉に彩られ、錦秋に染まります。あたたかい飲み物が美味しい季節になりました。

梨(なし) 梨物語その2

バラ科 ナシ属、落葉高木

前月の梨物語は続きます。「長十郎」と共に1970年代一世を風靡したのが「二十世紀」。1888年千葉県松戸市で13才の少年が、ゴミ捨て場に生えていた梨の木を発見、移植して育てたのが始まりです。(千葉県は梨に適した土壌)。木は育ち、実がなった1898年に、20世紀には代表種になってほしいと願いを込め「20世紀」と名づけられ、今では鳥取県の特産物となっています。梨は同じ品種間では受粉しにくい「自家不和合性」が強く、他品種の人工受粉が行われます。店頭によく並び「豊水」「幸水」は長い年月をかけて品種改良された傑作です。その「祖父」は、なんとあの「二十世紀」なのです♪偶然の発見が、今の私達へおいしい梨を届けてくれているのですね(^ ^)



外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	河田
2診	午前	高橋	砂田	角田	前岡	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊髄・脊髄外来 山本	角田	前岡	脊髄・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	高井
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	高井
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	—	神経内科 小坂田
	午後	脊髄・脊髄外来 山本	神経内科小坂田 (FUS)	脊髄・脊髄外来 山本	第4週 てんかん 田村 第1・3週 神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木 (2021.10)

連携協力医療機関のご紹介 (No.232)

宮田整形外科
クリニック

院長:宮田 啓介



【認定資格・所属学会・専門医】日本整形外科学会認定 整形外科専門医、医学博士(神戸大学)

【診療科目】整形外科、リハビリテーション科

【住 所】明石市太寺大野町2651

【電 話】078-912-2810



宮田院長からのメッセージ

地域の方々に気持ちよく来院して頂き、気持ちよく帰って頂く、アットホームな、かつ、先進的医療をとり入れ地域貢献出来るクリニックを目指しております。

休診日:木曜午後、土曜午後、日祝

連携協力医療機関のご紹介 (No.233)

糖尿病内科・内科・眼科
たてやクリニック

院長:楯谷 三四郎
副院長:楯谷 直子



【認定資格・所属学会・専門医】(院長)日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本肥満学会専門医・評議員、厚生労働省認定臨床研修指導医、日本糖尿病協会療養指導医(副院長)日本眼科学会専門医、ポトックス認定医、PDT認定医

所属学会:日本眼科学会、網膜硝子体学会、日本弱視斜視学会

【診療科目】糖尿病内科、内科、眼科

【住 所】加古郡播磨町東本荘2丁目6-9

【電 話】079-437-0117



楯谷院長からのメッセージ

1型糖尿病、2型糖尿病、インスリンポンプを含めた専門的な糖尿病診療と眼科専門医による眼科診療を行っています。専用駐車場25台 完備しております。

【内科、糖尿病内科】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	●
16:00~19:00	○	○	○	○	○	○

休診日:水曜午後、土曜午後、日祝

●9:00~13:00

【眼科】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	●
14:00~17:00	○	○	○	○	○	○

休診日:土曜午後、木曜、日祝

●9:00~13:00

公式LINE



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

ホームページ

